

2019 年度

公立西知多看護専門学校

自己点検・自己評価報告書

2020 年 12 月 22 日

はじめに

学校自己点検・自己評価を開始して3年目となりました。在校生・卒業生を対象としたアンケートの実施も2年目から行い、少しずつではありますが改善の努力を続けてきました。

この評価を実施している2020年度は、COVID19による影響を非常に受けている状況です。年度始めより、遠隔授業の開始など学校内のICT環境の充実をせざるを得ない状況により、予定よりも早い段階で多くの取り組みを進めることができました。そのため、2019年度の評価である本報告書では、今年度との比較により自己評価が厳しくなった項目もありました。また、昨年度までの評価結果並びにご講評いただいた皆様のアドバイスを十分活かさきれていない部分があることを認識することもできました。

現在、今までの自己点検・自己評価結果も加味して、2022年度4月より開始予定の新カリキュラム改正に向けての検討を続けています。カリキュラム評価も含め、自己点検・自己評価報告書に記載する情報の追加も含めて、今年度の評価から可能な部分を取り入れていきたいと考えます。

今年度は、同じ組合立の病院である公立西知多総合病院の副院長兼看護局長の植村真美様より講評をいただきました。在校生・卒業生アンケートの結果とともに、課題を明確にして今後も更なる改善に向けて、教職員一同、取り組んでまいりたいと思います。

最後になりましたが、ご講評いただいた植村看護局長、アンケートにご協力いただいた在校生・卒業生に感謝申し上げます。

令和2年12月

公立西知多看護専門学校

校長 竹内 晴子

目 次

I	教育理念・教育目的・教育目標	1
1	設置目的	1
2	教育理念.....	1
3	教育目的・教育目標.....	1
II	学校運営	2
1	運営方針及び事業計画	2
2	運営組織及び意思決定機能	2
3	人事・給与システム	2
4	学校内組織図.....	3
5	コンプライアンス体制並びに情報公開.....	3
6	情報システム化.....	3
III	教育活動	4
1	目標の設定等.....	4
2	教育方法・評価等.....	4
3	資格試験.....	6
4	教職員	6
IV	学修成果.....	7
V	学生支援.....	8
VI	教育環境.....	9
VII	学生の受入れ募集.....	10
VIII	財務.....	12
IX	法令等の遵守.....	12
X	社会貢献・地域貢献	13
資料 1	14
講評		
評価者 植村 真美	31

※評価結果点数は、4：適切、3：ほぼ適切、2：やや不適切、1：不適切で教員が評価した結果の平均値を示している。（2017年度評価者：10名、2018年度評価者：9名、2019年度評価者：9名）

【I 教育理念・教育目的・教育目標】

1. 設置目的

評価項目	評価結果		
	2017	2018	2019
1. 設置目的が明記されている。	3.6	3.8	3.8
2. 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	3.2	3.6	3.1

「沿革」および「本校の使命」に設置目的が明記されているため、評価に変化はない。

社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想については、少子高齢化が一層進むことを踏まえた将来構想まで言及されていない。2022年度のカリキュラム改正に向けて、従来の病院内看護を中心とした教育から、地域・在宅を視野に入れた教育を検討していく予定である。また、4年制化については、引き続きの課題である。

2. 教育理念

評価項目	評価結果		
	2017	2018	2019
3. 教育理念が明記されている。	3.8	3.8	3.9
4. 教育理念が学生・保護者等に周知されているか。	2.9	2.9	3.0

評価は昨年度までとほぼ変化がない状況である。ホームページ、学校案内リーフレット、学習要項、実習要項、学生便覧に掲載し、入学式時に保護者への説明も行っている。しかし、周知の程度について、把握していないことと、授業や実習の場面で理念に立ち戻るような意識が教員自身にも低いことが課題であると考え。現在、カリキュラム改正に向けて教育理念を見直しており、教員の意識も変化すると思われるため、周知方法の見直しとその結果の把握方法も含めて改善できるよう取り組む。

3. 教育目的・教育目標

評価項目	評価結果		
	2017	2018	2019
5. 教育目的・教育目標により、育成人材像が明示されている。	3.9	3.9	4.0
6. 教育目的・教育目標は学生・保護者等に周知されているか。	2.9	3.0	2.9
7. 教育目標・期待される卒業生像は、業界のニーズに向けて方向付けられているか。	3.7	3.6	3.7

教育目的、教育目標、期待される卒業生像は、昨年度までと変化がないため、評価も大差ない状況であった。ただし、これらについてもカリキュラム改正に向けて見直し、変更の予定である。

【Ⅱ 学校運営】運営方針及び事業計画

評価項目	評価結果		
	2017	2018	2019
8. 目的等に沿った運営方針が策定されているか。	3.6	3.7	3.7
9. 運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	3.6	3.6	3.7

組合立の学校として、予算策定や目標管理の時期に運営方針や事業計画を検討して明文化しているため、昨年度までと比較し、大差ない結果であった。

2019年度事業概要および組織目標は以下のものであった。

1. 優秀な入学生の確保を図る
 - 1) 魅力を伝える情報の発信による受験者数の維持・増加
 - 2) 入学試験実施方法の改善
2. カリキュラム改正に向けて教育体制及び教育教材の更なる充実を図る
 - 1) カリキュラム改正に関する情報収集及び検討
 - 2) 学習環境（設備・備品・使用器材等）の整備
 - 3) 教員の講義及び実習指導場面での教授力の更なる向上
3. 公立西知多総合病院への就職希望者を1人でも増やし、採用試験全員合格を目指す
 - 1) 病院との連携による臨地実習指導及びその環境の充実
 - 2) 病院内講師との連携
 - 3) 修学金貸与者及び採用試験に向けた書く力・伝える力の強化
 - 4) 学生の学習・生活全般に対するサポートの充実

1. 運営組織及び意思決定機能

評価項目	評価結果		
	2017	2018	2019
10. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか。	3.5	3.7	3.7

組合立の学校として、運営組織や意志決定機能について明文化しているため、昨年度と比較し、評価に変化はなかった。

2. 人事・給与システム

評価項目	評価結果		
	2017	2018	2019
11. 人事、給与に関する規定等は整備されているか。	3.2	3.0	3.8

人事・給与に関しては、西知多医療厚生組合例規集に規定されていることに変わりはないが、評価が上

がっている。高評価している教員の回答理由は、「例規集に明記されている」ことと、目標管理を基盤とした「人事評価制度があること」であった。自己点検・自己評価を実施したことで例規集の存在についての周知が出来たことと目標面接などの取り組みの定着が要因として考えられる。

3. 学校内組織図

評価項目	評価結果		
	2017	2018	2019
12. 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	3.3	3.4	3.9

当校の組織図は昨年度と変更はないが、評価は上がっている。これも11の項目と同様、自己点検・自己評価を経験したことによる変化も予想されるが、管理会議や教務課のチーム会議、教員会議など様々な意思決定を実行する組織が整備されてきたということを高評価の理由として挙げている教員も多い。

4. コンプライアンス体制並びに情報公開

評価項目	評価結果		
	2017	2018	2019
13. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	3.1	3.1	3.0
14. 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	3.1	3.1	3.1

昨年度までと状況に変化がなく、評価もほぼ変動がない状況であった。昨年度までの評価で今後の方向性として挙げていた学校内のコンプライアンス体制について通報システムや相互にチェックするシステムなどの検討ができていない。今回、教員間での授業評価体制がないことを低評価の理由に挙げている教員もいたため、今後の課題と考える。

一方、14の項目について、2019年度より自己点検・自己評価結果もホームページ上で公開していることは大きな変化である。このことについて、教員への周知が出来ていなかったことが今回の評価で明らかとなった。

5. 情報システム化

評価項目	評価結果		
	2017	2018	2019
15. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	2.6	2.7	2.4

自己評価結果が下がっている。2019年度には、電子テキスト導入に向けた試行、ITに詳しい職員の配置による機器類の点検整備やトラブル発生時の対処の充実があり、更に2020年度予算にWi-Fi環境整備を盛り込んだため、評価は上がると予想された。しかし、本評価を実施している2020年度には新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、更に大きな変化が起こった。その結果、現状との比較により、評価が低くなったことが予想される。

また、教員のパソコンにおけるファイル管理や業務の効率化を目指すことが引き続きの課題として残っていることを低評価の理由として挙げている教員もいた。

【Ⅲ 教育活動】

1. 目標の設定等

評価項目	評価結果		
	2017	2018	2019
16. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	3.8	3.8	3.9
17. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3.5	3.6	3.7

ほとんど評価に変動がない状況であるが、少しずつ上がっているとも言える。2020年度に向けて履修条件の見直しを行い、単位未修得であっても履修していれば可能となっていた実習の履修条件を一定の科目の単位修得を条件としたことを高評価の理由として挙げている教員がいた。また、カリキュラム改正に向けての検討をするプロセスの中で教育理念や育成人材像について検討していることが影響していると考える。カリキュラム改正に伴う検討の際には、かねてより課題として挙げている受け入れ病院のニーズを踏まえることを念頭に置く。

2. 教育方法・評価等

評価項目	評価結果		
	2017	2018	2019
18. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	3.1	3.1	2.9
19. 関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか。	3.1	3.1	3.2
20. 授業評価の実施・評価体制はあるか。	2.4	1.9	2.4
21. 関連分野における実践的な職業教育（実技・実習等）が体系的に位置づけられているか。	3.3	3.2	3.3
22. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	2.0	2.5	3.0
23. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	3.4	3.6	3.6

18については、2022年度カリキュラム改正にむけて様々な研修を受け、カリキュラム開発や教育方法の工夫・開発などに関する知識が増えてきていることから、現状の評価が厳しくなる傾向にあるのではないかと考える。低評価の理由としても「カリキュラム改正に向けての検討が現在進行形であるため」とし

ている教員もいた。また、大きな変化がないということも、工夫・開発といった「変革」が出来ていないという自己評価に繋がるとも言える。

19については、カリキュラム改正に向けて、同じ設置主体の病院におけるキャリアラダーも参考にしている。高評価の理由として、他校との情報交換の場での情報から、教育方法の見直しなどを行った実績が挙げられていた。

20については、昨年度と同様で各教員、各外部講師の自主的な評価に依存している状況であり、大きな課題であると認識している。カリキュラム改正を良い機会と捉えて、授業評価を実施するシステムを作っていきたい。そのひとつの方法として2018年度より開始した在学生・卒業生を対象としたアンケート調査（資料1-4）では、授業、実習ともに評価は上がってきている。また、現行カリキュラムの柱である社会人基礎力に関しては、今年度卒業した6回生の結果においても、例年通り、入学当初と比較し自己評価は上がるという結果が得られた（表1）。

		1回生	2回生	3回生	4回生	5回生	6回生	7回生	8回生
2014年度	年度始	42.3	44.3	45.4					
	年度末	44.3	40.3	44.7					
2015年度	年度始		38.7	43.6	40.1				
	年度末		43.0	46.2	43.8				
2016年度	年度始			46.1	43.7	39.7			
	年度末			48.3	36.6	41.0			
2017年度	年度始				37.0	41.3	37.1		
	年度末				39.9	40.9	40.3		
2018年度	年度始					40.3	40.3	46.1	
	年度末					46.8	41.6	44.8	
2019年度	年度始						41.6	44.8	43.3
	年度末						46.1	43.3	41.1

表1 社会人基礎力評価結果（5段階評価で13項目の合計65点が満点）

21については、評価に変化はほとんどなかった。技術教育は体系的に位置づけられているが、臨地実習における技術経験の個人差を問題として認識している教員もいた。実習評価が低い学生ほど技術経験が少ない傾向にあるということもあり、実習内容の遂行と併せて技術経験を増やしていくことが課題として挙げられる。

22については、臨地実習評価で指導者による評価を取り入れていること、講義においても母体病院に勤務する認定看護師が担当する科目の評価を行っていることが挙げられる。また、この自己点検・自己評価結果についての外部の方からの講評もこれに当たると考え、高評価の理由として挙げている教員もいた。

23については、評価に変動はなく、学生便覧等に明記されていることを評価の理由に挙げている教員が多く見られた。

3. 資格試験

評価項目	評価結果		
	2017	2018	2019
24. 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	3.6	3.3	3.6

看護師資格取得に向けて、チームを中心に1年生から様々な対策を考え、実行していることと、2018年度は不合格者が2名いたが2019年度は1名となったことにより、自己評価が上がったと考える(表2)。

表2 国家試験結果及び就職・進学状況

	卒業 者数	国家試験 合格者数	就職 希望者数	母体病院 採用試験 受験者数	就職先			進学者数
					母体病院	実習等 関連施設	その他病院	
2014年度(1回生)	28	28(100%)	25(89.3%)	20(71.4%)	20(71.4%)	3(10.7%)	2(7.1%)	1(3.6%)
2015年度(2回生)	26	24(92.3%)	24(92.3%)	18(69.2%)	16(61.5%)	3(11.5%)	5(19.2%)	0
2016年度(3回生)	29	29(100%)	29(100%)	22(75.9%)	22(75.9%)	4(13.8%)	3(10.3%)	0
2017年度(4回生)	27	25(92.6%)	27(100%)	18(66.7%)	13(48.1%)	8(29.6%)	6(22.2%)	0
2018年度(5回生)	32(1)	29(93.5%)	29(100%)	27(93.1%)	21(72.4%)	5(17.2%)	3(7.7%)	0
2019年度(6回生)	26	25(96.2%)	23(88.5%)	17(65.4%)	15(57.7%)	2(7.7%)	5(19.2%)	3(11.5%)

※卒業者数の()内数字は3月末までに卒業した者で国家試験未受験者数

4. 教職員

評価項目	評価結果		
	2017	2018	2019
25. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことが出来る要件を備えた教員を確保しているか。	3.0	2.9	3.0
26. 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか。	2.8	3.1	3.4
27. 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	2.9	2.8	3.2
28. 職員の能力開発のための研修等が行われているか。	2.2	2.7	2.8

25について、2019年度は、校長・副校長以外に教務課教員9名(その他再任用教員1名、非常勤の実習指導教員3名)、庶務課2名(その他非常勤職員1名)の体制で学校を運営した。常勤職員の急な退職や異動に伴い、常勤教員の2名補充および任期付短時間正規雇用の職員1名を雇用し、再任用教員と退職希望職員の実習指導教員としての勤務継続など教育の質を維持できるような人員を確保している。また、

2019年度に1名が教員養成研修を受講している。

26について、講師依頼は、引き続き、母体病院を中心にそれぞれに適した講師にお願いできるようにマネジメントを実施している。専任教員に関しては、2019年度より2名の新採用者が加わっている。高い評価をしている教員の理由としては、母体病院との連携を挙げている人が多く見られた。

27について、教員の指導力育成など資質向上に向けた取り組みとしては、出張での研修や学会参加、自己啓発での研修紹介と参加の推奨などを行っている（実績は表3参照）。2019年度は、教員の新規採用や変動に伴う担当領域の変更もあり、必要とされる臨地での研修も行っていることから、評価が上がっていると考えられる。また、新規採用職員の評価では、担当する科目の知識や指導の方向性の確認をもらったということが高評価の理由として挙げられていた。

28について、外部の研修に依存している状況に変化はないが、研修費用の予算確保がなされていることから評価に大きな変動はないと思われる。教員用のラダーを検討し、ラダー別研修などを計画することが必要であるが実施できていないことを低い評価の理由としている回答も見られた。

表3 研修参加状況

	出張扱い				自己啓発
	学会参加	自治体主催研修	教員養成	その他研修	
2014年度	2件(2名)	2件(2名)	0件	6件(6名)	5件(8名)
2015年度	2件(2名)	2件(2名)	1件(1名)	4件(4名)	6件(10名)
2016年度	3件(3名)	2件(2名)	0件	1件(1名)	3件(4名)
2017年度	1件(1名)	3件(3名)	1件(1名)	5件(5名)	14件(47名)
2018年度	2件(2名)	2件(2名)	0件	5件(5名)	13件(23名)
2019年度	2件(2名)	0件	1件(1名)	5件(5名)	14件(31名)

※()内の人数は述べ人数

【IV 学修成果】

評価項目	評価結果		
	2017	2018	2019
29. 就職率の向上が図られているか。	3.3	3.3	3.7
30. 資格取得率の向上が図られているか。	3.6	3.1	3.3
31. 退学率の低減が図られているか。	3.0	3.0	3.2
32. 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	2.4	2.4	2.4
33. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	2.2	2.3	2.2

29について、就職希望者の就職率は100%であるが、希望する就職先への希望が叶わないケースが散見されるようになってきている。しかしながら、1年生から小論文対策や面接対策の取り組みを行っており、在学生・卒業生アンケートにおいても満足度が高くなっていることもあり、評価が上がっていると考えられる。

30 については、2018 年度より評価が若干上がっている。これは、24 の評価と同様に国家試験合格に向けた取り組みを、学生の状況を踏まえて実践していることと、不合格者 1 名と前年度の 2 名より減少したことによると考える。また、在校生・卒業生アンケートにおいても、満足度は高くなってきている。

31 については、退学者が 2 名と増加しているが、退学に至る前に本人や保護者との面談などきめ細やかな対応をしていることを高い評価の理由としている教員もいた。

32、33 については、里帰りデー時の本人からと、母体病院や他の病院の広報紙などからの情報はあがるが、積極的な情報収集は実施していない状況が続いており、評価は横ばいである。

表 4 退学者数推移

		2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
総数		2	1	3	1	2
内訳	2012 年度入学者	1(3.3%)				
	2013 年度入学者	0				
	2014 年度入学者	1(3.3%)	0	2【2】 (6.7%)		
	2015 年度入学者	0	1(3.3%)	1【1】 (3.3%)	0	
	2016 年度入学者		0	0	0	
	2017 年度入学者			0	1【1】 (3.3%)	2【1】 (10%)
	2018 年度入学者				0	0
	2019 年度入学者					0

*【 】内は休学後に退学した者の数 ()内は定数 30 名中の割合

【V 学生支援】

評価項目	評価結果		
	2017	2018	2019
34. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	3.2	3.4	3.6
35. 学生相談に関する体制は整備されているか。	3.2	3.4	3.8
36. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	3.1	3.4	3.6
37. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか。	3.3	3.9	4.0
38. 課外活動に対する支援体制は整備されているか。	3.2	3.4	3.6

39. 学生の生活環境への支援は行われているか。	3.2	3.1	3.8
40. 保護者と適切に連携しているか。	3.4	3.6	3.9
41. 卒業生への支援体制はあるか。	3.0	3.3	3.3
42. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	2.9	2.8	2.9
43. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	3.1	3.2	3.0

34～40の項目に関しては、添付した在校生・卒業生アンケート（資料1-2・3・9）を基に必要なかつ実施可能な取り組みから実行している。年々、自己評価が上がってきていることもその結果であると思われる。担当教員の関わり、学生生活・学習環境チームの活動、庶務課による修学支援制度施設としての認定活動、管理会議メンバーによる就職・進学支援のための小論文・面接指導などが計画的かつ能動的に実施できていることによると考える。

41については、卒業生への支援体制として、「里帰りデー」の継続、同窓会活動のサポート、図書室利用の開放に加えて、パソコン室利用も開放することになった。

42については、評価に変動はない。社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備については、既修得単位の認定のみの活動であるためと考える。

43については、高校訪問を継続し、進路相談会に参加し、当校の教育方針等は伝達している。進路指導の教師の考えを把握し、オープンキャンパスへの参加や相談会での説明内容において要望に応えるようにしている。教員による職業講話や当校在校生による卒業高校での在校生対象の講演などにも協力している。

【VI 教育環境】

評価項目	評価結果		
	2017	2018	2019
44. 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	2.1	2.6	2.7
45. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	2.1	2.3	2.9
46. 防災に対する体制は整備されているか。	2.7	2.7	2.9

44について、評価が若干上がっている。在校生・卒業生アンケート（資料1-7）においても、評価は上がっている。その理由として、実習室で使用できる大画面の液晶テレビや書画カメラの購入があったことが影響していると考えられる。ただし、施設の老朽化は否定できず、在校生・卒業生アンケートにおいても冷暖房についての不満が散見される。教員の低評価の理由も冷暖房設備の老朽化を挙げているものが数名あり、ICT環境が不十分であることを挙げているものも複数名いた。

45については、臨地実習指導者会議等を通じて母体病院の実習環境改善に向けて指導方針の共有や物品等の整備を依頼する関係が維持されているためと考える。しかし、実習で学生が使用するワゴンや清潔

ケアに用いる物品が不十分であるという評価をしている教員もいる。学生の実習後のアンケートでは、そのような意見はないため、今後、状況を把握し、必要に応じて申し入れをしていく。また、母体病院以外の実習施設の確保が出来ていることを高い評価の理由にしている教員もいた。

46については、年に1回の防災訓練の実施と防災グッズの購入、マニュアルの見直しなどを継続して行っていることが評価の上昇の理由と考える。

【Ⅶ 学生の受入れ募集】

評価項目	評価結果		
	2017	2018	2019
47. 学生募集活動は、適正に行われているか。	3.4	3.8	3.7
48. 学生募集活動において、教育成果は確実に伝えられているか。	3.2	3.2	3.3
49. 学納金は妥当なものとなっているか。	3.2	3.4	4.0

47については、オープンキャンパスの受け入れ人数の拡充や高校訪問、進路相談会への参加（表6・表7）の継続などを遂行しているが、受験者数が減少していること（表5）が評価に影響していると考えられる。

48については、評価は横ばいであるが、当自己点検・自己評価報告書を高校訪問の際に配布、説明するようにした。また、ホームページでの情報発信、オープンキャンパスでの在校生との交流による情報提供を高評価の理由として挙げている教員もいた。

49については、引き続き在学生・卒業生からの評価も高く（資料1-8）、アンケートで要望があった必要経費の明示についても実施したため高い評価となった。

表5 受験者数の動向

入学 対応年	受験者		合格者		合格者の居住地域			
	一般	推薦	一般	推薦	東海市	知多市	名古屋市	その他
2016年	111 108	7 7	24	6	6	8	2	14 (9)
2017年	123 118	7 7	24	6	5	6	6	13 (10)
2018年	104 100	11 11	20	10	5	8	3	14 (14)
2019年	118 115	15 15	18	12	0	9	1	20 (18)
2020年	93 92	13 13	21	9	9	9	1	11 (8)

※その他下段（ ）内数字は東海市・知多市以外の知多半島内居住者

表6 2018年度進路相談会参加実績

日時	集合時間	開催時間	場所	主催	参加校	出席講師	総対応人数	高1	高2	高3	社会人	保護者	入場者数
4月27日(金)	15:45	16:00~18:30	住吉福祉文化会館	昭栄広報	不特定(近隣) 半田商業 半田農業 東海商業 日福	髙部	21	0	9	12	0	1	130
5月7日(月)	14:00	14:30~15:00	内海高等学校	さんぽう	内海高等学校	石井	2	0	0	2	0	0	38
5月17日(木)	11:35	11:55~12:45	東海商業高等学校	昭栄広報	東海商業高等学校	石井	5	0	0	5	0	0	
5月18日(金)	13:10	13:30~16:00	住吉福祉文化会館	さんぽう	不特定(近隣)	竹内	5	0	1	3	0	1(教師)	
7月7日(土)	12:30	13:00~16:00	ウインクあいち	愛知県ナースセンター	不特定	竹内・髙部	13	1	0	10	2	6	231
7月8日(日)	12:45	13:00~17:00	ウインクあいち	東京アカデミー	不特定	竹内・石井	19	0	0	16	3	0	295
7月12日(木)	14:00	14:30~15:20	知多翔洋高等学校	さんぽう	知多翔洋高等学校	石井	11	0	0	11	0	0	
10月18日(木)	13:50	14:20~16:10	ゆめたろうプラザ	さんぽう	武豊高等学校	髙部	7	0	6	0	0	1	
11月5日(月)	13:00	13:30~15:20	知多翔洋高等学校	さんぽう	知多翔洋高等学校	石井	33	33	0	0	0	0	
11月8日(木)	8:45	9:05~9:55	半田農業高校	昭栄広報	半田農業高校	齋藤	6	6	0	0	0	0	
12月4日(火)	10:40	11:05~11:30	東海商業高等学校	さんぽう	東海商業高等学校	石井	12	0	12	0	0	0	
2月1日(金)	15:40	16:00~18:30	クラシティはんだ	ライセンスアカデミー	不特定	竹内	6	2	4	0	0	0	
3月5日(火)	15:45	16:00~18:00	東海市芸術劇場	昭栄広報	不特定(近隣) 東海商 東海南 翔洋 横須賀 常滑 阿久比 大府 大府恵	髙部	17	8	9	0	0	0	237
3月20日(水)		12:30~18:00	ウインクあいち	さんぽう	不特定 知多翔洋 豊橋商業 半田商業	竹内・石井	12	3	7	0	0	2	
学校訪問者							15						
合 計							184						

※保護者数欄の()内数字は、件数。

表7 2019年度進路相談会参加実績

日時	集合時間	開催時間	場所	主催	参加校	出席講師	総対応人数	高1	高2	高3	社会人	保護者	入場者数
5月9日(木)	14:40	15:05~15:35	内海高等学校	さんぽう	内海高等学校	久木	2		2				
5月23日(木)	10:50	①11:20~11:50 ②12:10~12:50	半田商業高等学校	さんぽう	半田商業高等学校	石井	5			5			
5月23日(木)	12:40	13:00~15:30	クラシティはんだ	さんぽう	不特定(近隣) 半田商業・農業・東海商業・武豊・内海など	石井	4			4			
5月30日(木)	11:30	①12:00~12:25 ②12:25~12:50	東海商業高等学校	さんぽう	東海商業高等学校	竹内	8			8			
6月17日(月)	15:45	16:00~18:30	住吉福祉文化会館	昭栄広報	不特定(近隣) 半田商業 半田農業 東海商業 日福	竹内	9		4	4		1	71
7月4日(木)	14:30	15:00~16:30	知多市勤労文化会館 やまももホール	さんぽう	知多翔洋高等学校	竹内	24		24				2年生 全員
7月6日(土)	12:30	13:00~16:00	ウインクあいち	愛知県ナースセンター	不特定	石井・髙部貴	23	1	4	9	6 1(中1)	4	611 (相談者359)
10月17日(木)	13:50	14:20~18:00	ゆめたろうプラザ	さんぽう	武豊高等学校	竹内	7		5			2	
11月29日(金)	11:10	11:30~12:20	半田商業高等学校	昭栄広報	半田商業高等学校	髙部貴	10		10				
12月3日(火)	10:35	11:05~11:55	東海商業高等学校	ライセンスアカデミー	東海商業高等学校	竹内	5		5				
12月24日(火)	13:40	14:00~17:00	ウインクあいち	さんぽう	不特定	竹内・中田	1		1				
1月27日(月)	13:00	13:30~15:20	知多翔洋高校	ライセンスアカデミー	知多翔洋高等学校	髙部貴	23	23					
2月6日(木)	11:30	12:00~12:50	半田商業高等学校	ライセンスアカデミー	半田商業高等学校	石井	5	5					
学校訪問者							6						
合 計							113						

【Ⅷ 財務】

評価項目	評価結果		
	2017	2018	2019
50. 中長期的に学校の財務基盤は安定していると言えるか。	3.1	3.0	3.4
51. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	3.4	3.4	3.7
52. 財務について会計監査が適正に行われているか。	3.8	3.8	3.8
53. 財務情報公開の体制整備はできているか。	3.5	3.8	3.8

50 については、評価が上がっている。備品の購入などの予算案作成や予算執行状況の把握に教員が関与するようになり、財務基盤が安定していることを実感したことによるものと思われる。

51・52・53 については、組合議会での審議を得ていること、会計監査を受けていること、組合議会報告としてホームページで情報公開されていることを認識したことによる評価と考える。高い評価をしている教員はそれらを理由として挙げている。

【Ⅸ 法令等の遵守】

評価項目	評価結果		
	2017	2018	2019
54. 法令、看護師等養成所指定規則等の遵守と適正な運営がなされているか。	3.9	4.0	4.0
55. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。	3.2	3.4	3.7
56. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	1.7	2.7	3.0
57. 自己評価結果を公開しているか。	1.5	2.8	3.4

54 については、昨年度と変化がない状況である。

55 については、患者情報の保護については学生から誓約書をとっていること、実習記録の管理の徹底をしていることが高評価の理由として挙げられている。また、学生の個人情報についても外部データの取り込みの制限やデータの持ち出し規定の存在などが挙げられている。

56・57 については、自己点検・自己評価の実施とホームページでの公開を高評価の理由として挙げている教員が複数いた。一方、授業評価を含むカリキュラム評価が不十分であることを低い評価の理由として挙げている教員もいた。

【X 社会貢献・地域貢献】

評価項目	評価結果		
	2017	2018	2019
58. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	2.8	2.8	2.8
59. 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	3.4	3.4	3.4
60. 地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか。	1.7	2.3	2.4

58・59については、評価結果に変化はなかった。主に母体病院にモデル人形や図書の貸し出しを行っていることを高い評価の根拠としている教員もいた。また、福祉フェスティバルやデイサービスでのボランティア活動の継続も評価が維持されていることに繋がっている。

60については、1年に1回行っている全体講演会を、母体病院や実習協力施設の職員にも案内し、参加を呼び掛けていることから評価が上がったと考える。

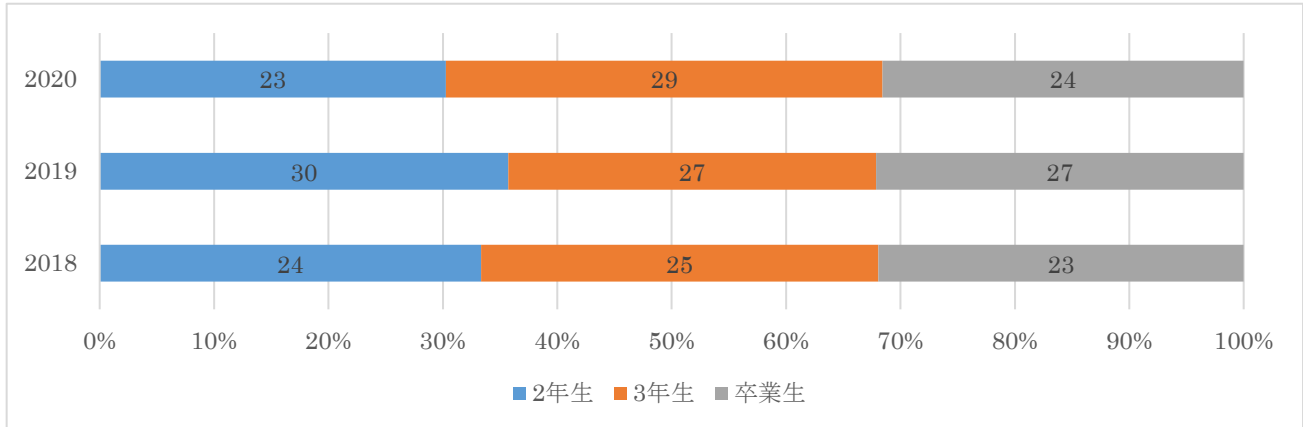
資料 1

2020年4月在校生・卒業生アンケート集計結果

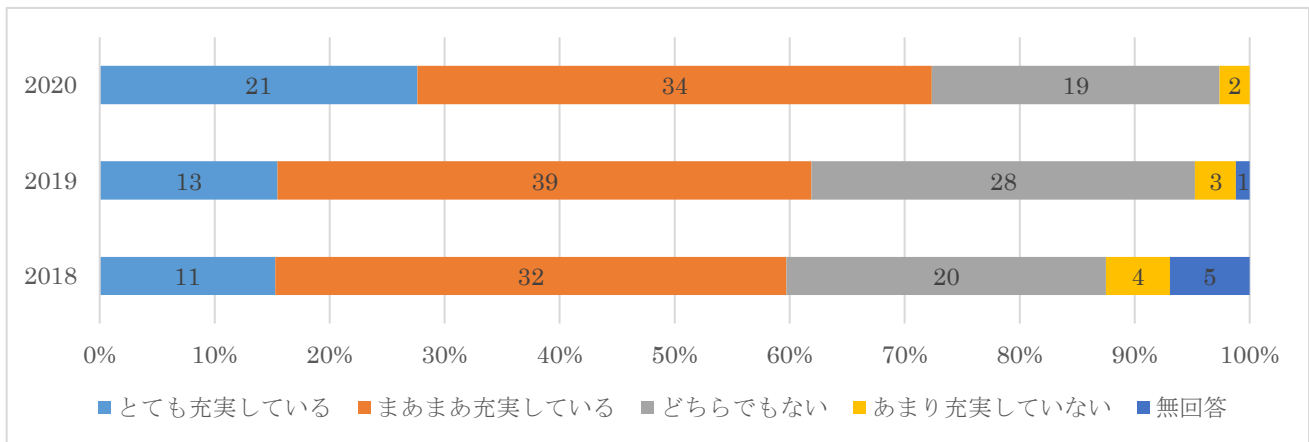
※自由記述部分は今年度回答結果のみ

1 アンケート回答者数 76名

(2年生：23名 3年生：29名 卒業生：24名)



2 就職に関するサポートについて、あなたはどのように感じていますか？



(1) とても充実している

[3年生]

- ・普通の大学生なら、履歴書の確認、面接練習など実施してもらえないから
- ・志望が附属の病院なので、申込みや試験の面で優遇されていると感じているから
- ・先生たちが前もって面接の練習の予定を立てたり、履歴書もアドバイスしてくれるから

[卒業生]

- ・面接練習や小論文対策をしてくれる
- ・情報がしっかりしてた
- ・西知多総合病院に就職する場合は充実していると思う
- ・面接の内容を丁寧に添削してくださった
- ・西知多総合病院の就職説明会を学校で開いてくださったり、書類の準備、確認などを行なってくださ

った為。また面接や小論文の練習もして下さった為。

- ・就職試験の前に面接を練習させてもらったので、練習の際にすぐに答えられなかった質問の回答などを自分なりに用意しておくことができた。そのため、本番の試験でも緊張せずに面接を行うことができた
- ・面接も履歴書も一人ひとりに親身になってくれる
- ・進路変更にも私の意志を尊重してくれた
- ・論文対策や面接練習など個人に合わせて行うことができたから。
- ・面接の練習や小論文の練習など充実していた

(2) まあまあ充実している

[2年生]

- ・小論文対策をしてくれているから
- ・親身に話を聞いてくれるから
- ・情報をこまめにくれるから
- ・まだ2年生で、詳しく就職について行動していないから
- ・まだ、あまりわからない

[3年生]

- ・面接の練習や小論文の対策があった
- ・履歴書の書き方、面接のポイントなど個々に合わせたアドバイスがよかった
- ・就職先を迷っている時に親身になって相談に乗ってもらえたから
- ・西知多総合病院に就職するなら、サポートは充実していると思う
- ・最低限の対策はしてくれている

[卒業生]

- ・面接練習とか先輩の例があってよかった
- ・過去の就職試験の情報を知れたため
- ・修学生を辞めたのでそこから自分で就職活動するのが大変だった
- ・小論文の対策をしていただけなのが良かった
- ・相談に親身に乗ってくれた
- ・他の就活生より早く面接を受けられるなどサポートがあったから

(3) どちらでもない

[2年生]

- ・まだわからないから
- ・サポートが手厚いと感じたことも、足りないと感じたこともないから

[3年生]

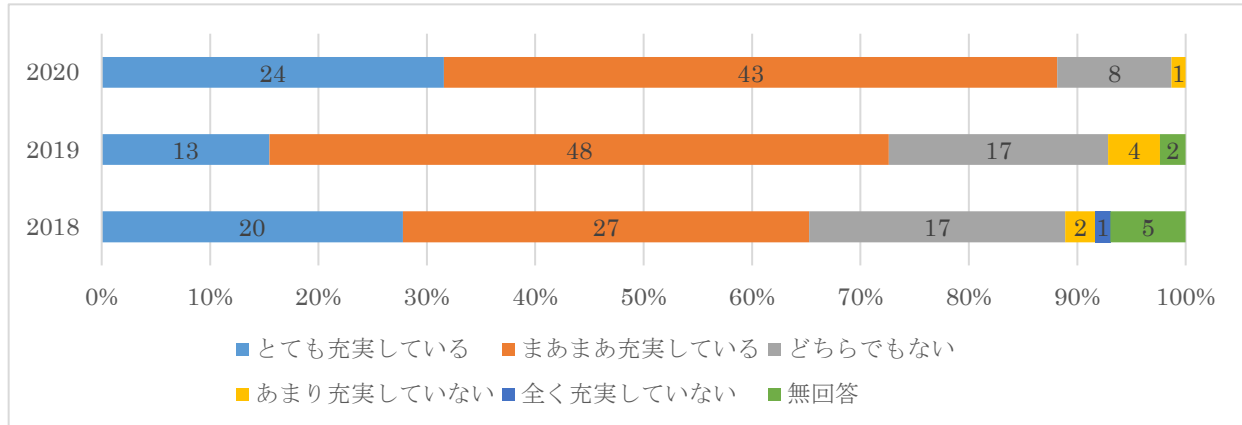
- ・西知多総合病院以外に就職する人にとっては、あまり充実していない気がする
- ・コロナの影響
- ・履歴書の書き方やコツを教えてほしい
- ・面接や小論文対策を少ししかできていなかったため不安

(4) あまり充実していない

[3年生]

- ・相談できなかった

3 国家試験に関するサポートについて、あなたはどのように感じていますか？



(1) とても充実している

[2年生]

- ・模試の前後に振り返りをするから
- ・8割いくように声をかけてくれるから

[3年生]

- ・模試が多く、説明をたくさんしてくれるから
- ・詳しい説明で分かりやすいため
- ・先生たちが講習会や今後の勉強に対して熱心に教えてくれる

[卒業生]

- ・なんでも相談しやすい
- ・教員が親身になってくれた
- ・こまめに面談をしてくれて気にかけてくれると思う
- ・模試がたくさんあったため
- ・沢山過去問を解かせて貰ったり、模試も色々やらせて貰ったから
- ・この時期に何点をとるなど具体的な目標やその時期にやった方がいい勉強を教えてくださいました。定期的に担当教員と面談する機会が設けられており、不安なことは相談出来た為
- ・自分の苦手な分野の勉強方法や、国家試験までの残りの月日をどう過ごしていくのか、といったことを担当教育と相談していたため、国家試験の精神的なサポートがあると強く感じた
- ・模試を参考に個々に合わせて指導してくれる
- ・最後までマンツーマンでサポートがあり、乗り切ることができた。分からないところも私が納得するまで教えてくれる。対策もしっかり教えてくれたり、学生のためにパズルとかで覚えやすいようにサポートしてくれた
- ・問題集や参考書が多くあったり、分からないことについて相談ができる
- ・多くの過去問や問題集があり、様々な種類の問題を解くことができ自信に繋がった

(2)まあまあ充実している

[2年生]

- ・模試があるから
- ・授業の中で、出るところを教えてくれるから
- ・図書室が充実している
- ・模試直しの指導など、1年次から国試を意識して取り組めたから
- ・春休み課題や模試直しのチェックをしっかりとやってもらえる

[3年生]

- ・模試や実力テストで自分の学力を振り返れる。現状を把握しやすい
- ・先輩からのアンケート結果やおすすめの教材を提示してもらえる
- ・不安な人も勉強できるような何か欲しい
- ・教科組制度があり、勉強しなければと思うから
- ・国家試験についての説明を丁寧にしてくれる
- ・「あなたたち次第」＝放置と取れることがある
- ・何かやると言って、1、2年の間には特に何もしていない
- ・最低限の対策はしてくれている
- ・ORで説明があり、サポートしてくれていると感じる
- ・先輩のアンケートの結果を下級生の時にも見ておきたかった
- ・先輩たちのデータをまとめて教えてくれるから

[卒業生]

- ・国試直前の先生の応援はとても活力と自信に繋がった
- ・相談すると、学生がわかるまで親身になってくれたことが良かった
- ・担当教員が模試結果に応じて指導してくれたから
- ・色々な講義などの情報や過去問の貸し出しなどサポートがあったから

(3)どちらでもない

[2年生]

- ・解説がほしいです
- ・まだ実感がわからないから

[3年生]

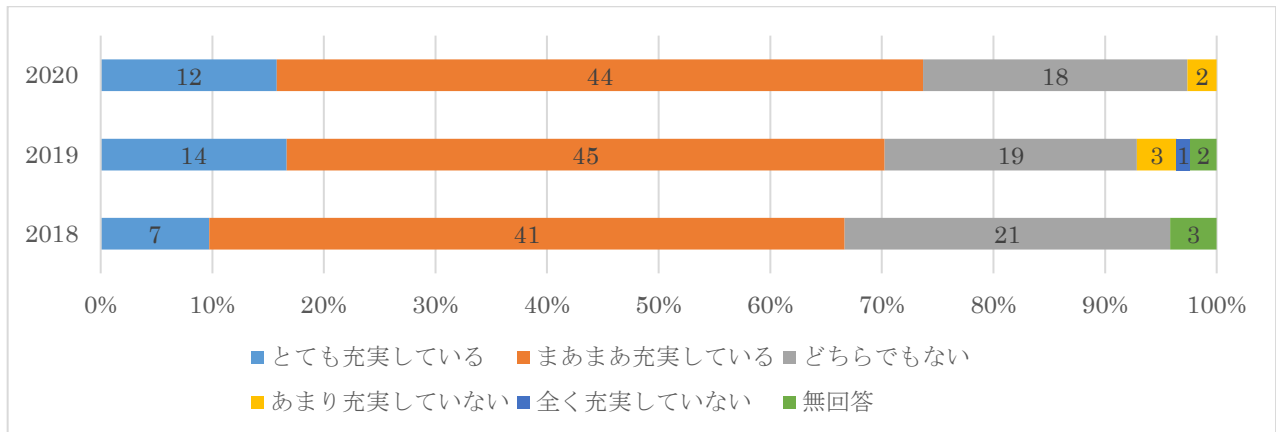
- ・本の紹介をしてくれたが、まだサポートを受けていないと感じたから
- ・「勉強しないとだめだよ」などの言葉だけでなく、講義を受けたい

(4)あまり充実していない

[卒業生]

- ・自分なりの勉強法がそれぞれあるからそれを尊重してほしい

4 授業についてあなたはどのように感じていますか？



(1) とても充実している

[2年生]

- ・わかりやすいから
- ・授業で知識が増えるから

[卒業生]

- ・生徒にわかりやすいように工夫してくれた
- ・たくさんの先生に来て頂き、とても勉強になる
- ・基本的な部分から振り返り教えてくれるため基礎力がついた

(2) まあまあ充実している

[2年生]

- ・校内の先生の授業は、エピソードなど、たくさんの工夫をした楽しい授業をしてくれる
外部の先生は、たまに延々と教科書を読んでいるだけの先生がいるので「・・・。」というかんじ
- ・臨床での貴重な経験を聞けるが、クラスの雰囲気により集中できないと感ずることがあるから

[3年生]

- ・何故受けているのかわからない授業がある
- ・授業資料（穴埋め、パワポ）が無く、教科書もどこを見ればいいのかわからない時がある
- ・寝ている人、他事をしている人が目立つ
- ・わかりやすい
- ・先生による
- ・ただ資料を読んでいるだけだとあまり聞く意味がないと思う
- ・後で実習等で使える内容が多く役立つから
- ・眠くなる話し方の先生もいる

[卒業生]

- ・もっと実践向きな技術練習があったらもっと良いから(点滴、採血など)
- ・多くの学生が就職する病院から、現役の医者や看護師が授業に来て下さる為
- ・実習先の医師や看護師が講義をしてくれたところが良かった
- ・授業の内容は理解しやすかったが、授業の時間が押して飛ばしすぎた分野が多かったため、もう少し時間配分を調整しながら進めて欲しかった

- ・認定看護師さんが来てくれたり、専門の方が来てくれるため、わかりやすかった
- ・授業は呼吸器や脳外など楽しい授業がたくさんで良かったのですが、周りで寝てる子が多かったりで睡魔に誘われることがあった
- ・座学と実技の両方があり先生も質問しやすい雰囲気のため

(3) どちらでもない

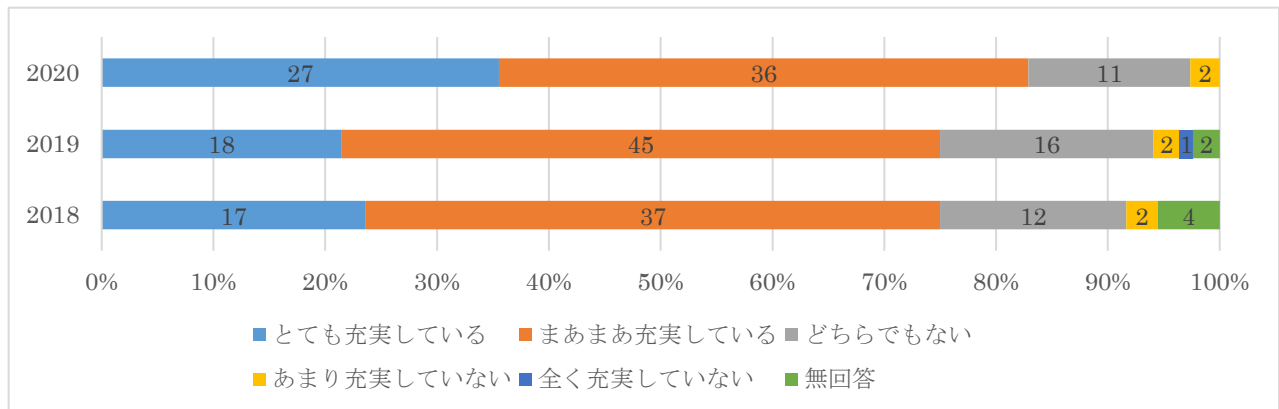
[3年生]

- ・外部講師の方の授業が難しい
- ・教科による。解剖は何も得られなかった
- ・充実している授業もあれば、眠ってしまった授業もあったから
- ・良い先生の際は本当にわかりやすいが、わかりにくい先生もいる
- ・クラスの一部の雰囲気が良くない
- ・寝てしまい、テストを落としてしまう
- ・科目によって異なる

[卒業生]

- ・一年生での解剖生理がわからなかったため
- ・国試間近になると1年生の授業がとても大事だったと気づいた。でも1年生の時はその自覚がなく、しっかり受ける事が出来てなかったから
- ・教科書やレジメばかりで視覚的に記憶に残るものが少ない。それではすぐに忘れてしまう

5 実習について、あなたはどのように感じていますか？



(1) とても充実している

[2年生]

- ・丁寧に指導してもらえるから
- ・担当の先生や指導者の方のサポートがたくさんあったから
- ・先生が細かな記録指導を行ってくれて、アドバイスも的確だったから

[3年生]

- ・教材やプリントを用いての説明がわかりやすく、帰宅してからも学習しやすい
- ・先生や指導者に相談しやすい環境と感じる
- ・実際の患者さんと触れ合うことで学ぶことが多くあるため

- ・メンタルのサポートもしてもらえる

[卒業生]

- ・実習が今一番役に立っている
- ・色々な科を学ばせてもらえる
- ・教員が親身になってくれた
- ・先生達も優しくて充実していたと思う
- ・実習指導教員の先生も親身になって相談に乗って下さるし、分からない時は教えてくれて学生としては実習しやすかった
- ・辛いことも沢山あったが、日々の記録によって沢山のことを学び、成長できた 2 週間だったと毎クール感じる事が出来た為。
- ・記録の書き方が分からない私に、丁寧に分かるまで説明・指導してくださったから
- ・実習でしっかり記録が書けるようになることで働き出してから看護記録が書きやすくなるから
- ・先生からのアドバイスやサポートにより、途中で諦めることなく実習を終えることが出来た

(2) まあまあ充実している

[2 年生]

- ・記録と生活のバランスがうまくとれなくて、体調管理が必要だから

[3 年生]

- ・先生方のサポートがあるので、辛い実習でも乗り切れる
- ・演習（成人）を細かくやることができない
- ・指導者による。先生は心の支えになってほしい
- ・生徒が困っている時、先生が救いの手を差し伸べてくれる
- ・先生によって意見や考え方が違うので、自分の方向性に戸惑う
- ・勉強したことが実践として身につく。ただ、メンタルがこわれる

[卒業生]

- ・細かく指導をしていただいたため
- ・母性看護学でお産の実習がなかった
- ・臨床に出て実感したが他の学校の人たちより多くの貴重な経験をさせてもらってたんだと思った
- ・実習指導の先生もいて質問がしやすかった。記録は大変だけど丁寧にみて指導をしてもらえた
- ・患者さんという時はすごく楽しい時間を過ごすことが出来たが、記録や指導が精神的に苦痛でたまらなかった。夜も睡眠が確保ができる日と出来ない日があつて辛かった
- ・母体病院があることで、多くの実習を1つの病院で受けることができた

(3) どちらでもない

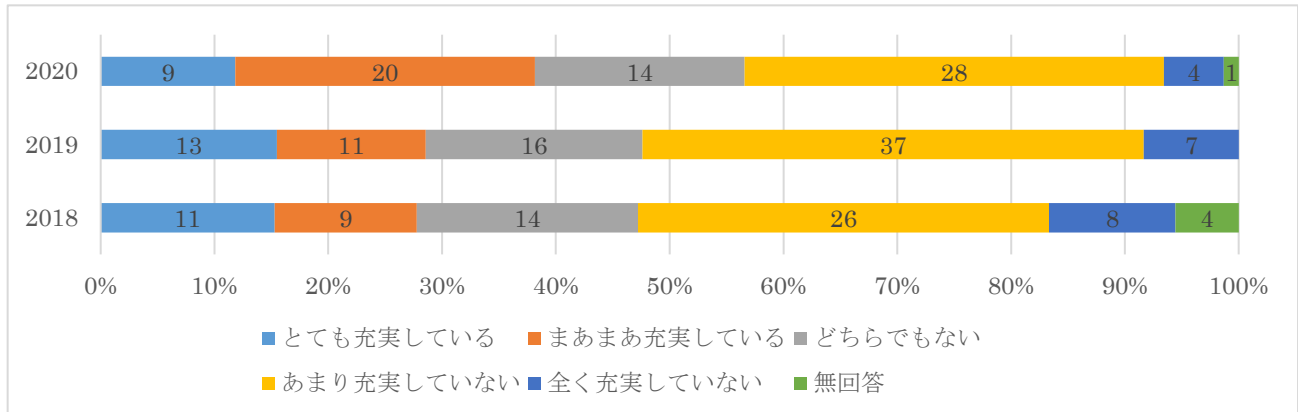
[3 年生]

- ・授業に来てくださる方の病院での実習も受けてみたい
- ・自分の要領が悪いため
- ・何が良かったのか、何が悪かったのかわからない
- ・内容は濃いと思うが、忙しくて充実感はあまりない

[卒業生]

- ・母性実習が充実すると良いと思った

6 学校までのアクセス・立地条件について、あなたはどのように感じていますか？



(1) とても良い

[2年生]

- ・家が近いから

[3年生]

- ・家から近いから
- ・車通学だから、十分な睡眠をとってから来れるから
- ・駐車場が近いから

[卒業生]

- ・家から近いから
- ・車で10分であった
- ・家から学校まで短時間で登下校することができたから

(2) まあまあ良い

[2年生]

- ・駐車場から少し距離があり、ドシャ降りの雨だとせっかく車通学しているのに教室につくまでに結構濡れるから
- ・家が近いから

[3年生]

- ・電車通学の人は大変だと思う
- ・駅から遠い
- ・坂が長い
- ・家が近いから
- ・車通学だから

[卒業生]

- ・車では駐車場が近くていい

(3) どちらでもない

[2年生]

- ・良いとも悪いとも思ったことがないから
- ・電車だと駅まで遠いけど、自分の家からは自転車で行けるから

[3年生]

- ・電車だと遠い
- ・道が細く狭い
- ・車だといいが、電車だと最悪
- ・駐車場はお金を払っているのだから、きちんと線を引いて、ブロックも固定してほしい

[卒業生]

- ・車通学で家が近い人にはありがたいけど、電車だと大変だと思う
- ・私は車だからよかったけど電車の人は大変そうだった
- ・車だったらいいけど、電車は駅からが遠い
- ・最寄駅から徒歩だと遠いため
- ・駅から少し遠いと感じた

(4) あまり良くない

[2年生]

- ・駅が遠い。名鉄しかない
- ・バス停が遠い

[3年生]

- ・歩きの人には不便
- ・電車だと駅からとても遠い
- ・坂がきつい
- ・電波が悪い
- ・周囲に何も無い。コンビニがほしい
- ・駐車場があるのはいいと思う

[卒業生]

- ・最寄り駅まで徒歩約 20 分、また外灯も少なく夜道は怖い為。
- ・駅から少し遠い。最寄りの駅が無人駅で冬の下校時が暗くて人通りも少ないので怖い。駅を出てからの道が狭い割に車通りがすごく多くて危なく感じた
- ・駅から遠い
- ・電車で行くとしたら歩いたり自転車に乗らないといけないため、大変そうに感じた
- ・最寄りの駅から学校までが遠い
- ・家から近いので不便を感じたことはないが、駅からは遠いと感じた

(5) 全く良くない

[2年生]

- ・駅から遠すぎる。特急電車が止まらない

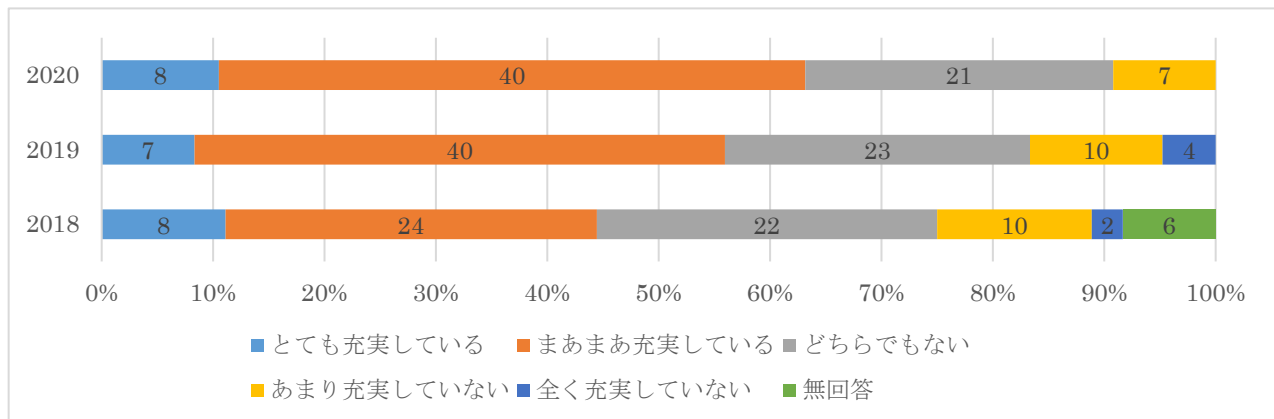
[3年生]

- ・駅から遠い

[卒業生]

- ・駅から遠い。山を登らないといけない
- ・公共交通機関が近くない

7 学校の施設・設備について、あなたはどのように感じていますか？



(1) とても良い

[3年生]

- ・学習しやすい環境だと思う
- ・安い学費だから文句は言えない。むしろ十分整っている

[卒業生]

- ・苦になった事がないため
- ・殆どの教室にエアコンが付いていたり、トイレの手洗い場は手をかざすと自動で水が流れたから

(2) まあまあ良い

[2年生]

- ・冬、18時頃まで学校に残っていると、廊下の電気が消えていて靴箱までが怖い
- ・1階のコピー機のインクが、たまに薄い時がある
- ・教室と廊下の中の壁が、すりガラス等明かりが入るように、また空気の入れ替えができるようにしてほしい。閉鎖空間の中で過ごしているみたい

[3年生]

- ・二階の冷蔵庫は便利だ
- ・日が当たらなくて寒い
- ・エアコン等があるだけで助かっている
- ・できれば最終下校時刻を伸ばしてほしい
- ・特に不満を感じない
- ・トイレがきれい
- ・給湯室の冷蔵庫がうれしい

[卒業生]

- ・トイレがきれい。
- ・授業料の安さにしてはとても充実している。大学とかと比べると差が出る
- ・学校は古いけど授業料が安いので良いと思う
- ・運動ができる環境もあるため
- ・中身は綺麗だと思うから
- ・フリースペースがもう少しあると国試の勉強（以下、記述なし）
- ・演習に必要な設備が揃っていた為
- ・移動教室が少なくて嬉しい

(3) どちらでもない

[2年生]

- ・良いとも悪いとも思ったことがないから

[3年生]

- ・教室内で廊下側と窓側の温度が違う
- ・廊下側まで暖房がきかない
- ・冷暖房をかけた時、ホコリっぽさを感じる
- ・お菓子やパンの自販機を入れてほしい

[卒業生]

- ・公立の学校であり学費が安い為、設備は十分であると感じた
- ・不自由はないから
- ・新品のものよりは古いものが多く特別良いとはいえない

(4) あまり良くない

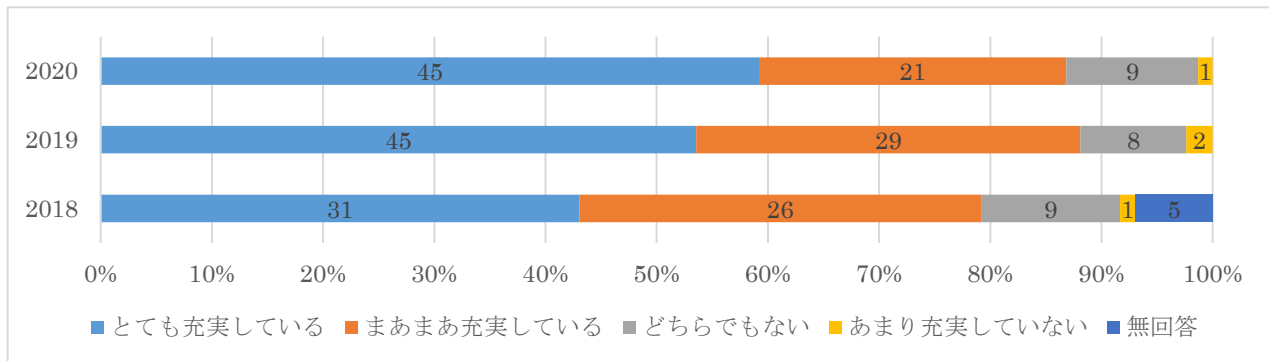
[3年生]

- ・夏暑く、冬寒い
- ・演習の時に壊れている部品があることが多いから
- ・古い

[卒業生]

- ・なんでもかんでも節約だったり紐の回収だったりとちょっとめんどくさいことが残念

8 学費など必要な経費について、あなたはどのように感じていますか？



(1) とても良い

[2年生]

- ・他校と比べても安いからとても良い
- ・必要な費用だから

[3年生]

- ・大学に比べて安い
- ・学費が安い
- ・無駄なお金がない
- ・親に負担をかけないから

[卒業生]

- ・有り難かった
- ・奨学金制度がある、安い
- ・安かったため、社会人からでも挑戦できた
- ・安くてありがたい
- ・学費が安いため
- ・3年間の学費がお手頃で両親に迷惑掛けずに済んだから
- ・授業料が安いのは助かります
- ・安価である為
- ・経費が無くて不便に感じたことがないため
- ・安くて良かった
- ・公立だから安くて良い
- ・とても安い上に奨学金制度もあり助かった
- ・とても安いため

(2) まあまあ良い

[2年生]

- ・突然集金を言われることがあって、学費を自分で出している人たちは大変そうだなと思っている

[3年生]

- ・公立なので学費が安い
- ・3月は何もしていないので損した気持ちがある

[卒業生]

- ・学費は安くて有り難い、奨学金もあるためよい

(3) どちらでもない

[3年生]

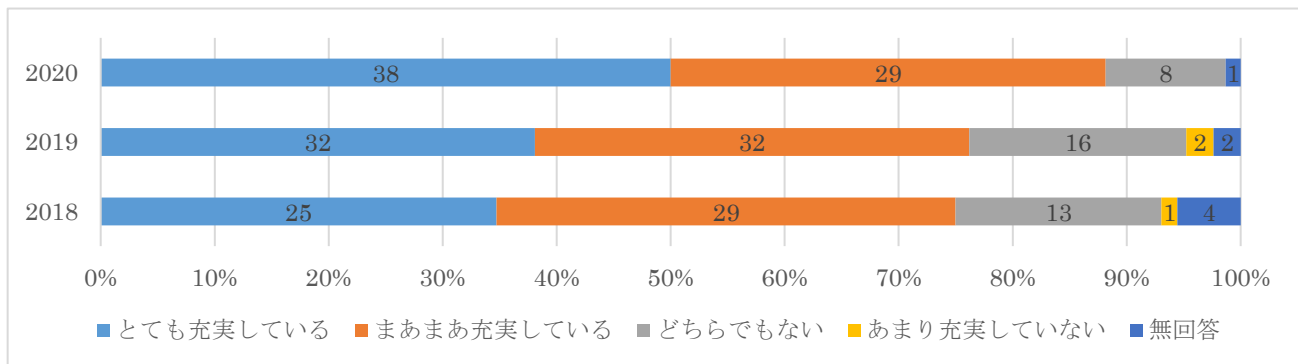
- ・後からの集金ではなく、全部引き落としの方がいい
- ・追加購入物が多いので、入学前に追加で買うものの予算がわかるといい
- ・授業料は安いけど、いろいろとお金がかかる印象

(4) あまり良くない

[3年生]

- ・教科書は1年次に全部欲しかった

9 教員について、あなたはどのように感じていますか？



(1) とても良い

[2年生]

- ・親身に話を聞いてくれる先生ばかりだから
- ・話しやすい
- ・優しい

[3年生]

- ・優しいし相談にのってくれる
- ・厳しい時もあるが、学生のためと思う
- ・生徒に向き合ってくれる。頑張りを認めてくれる
- ・情報共有が早く、色々な先生からアドバイスをもらえる
- ・学生のことを考えてくれている
- ・アメとムチの使い分けがうまい
- ・寄り添ってくれて心が救われたから
- ・親身になって考えてくれていることが伝わってくるから

[卒業生]

- ・献身的にサポートをしてくれた

- ・本当に優しい常に見守られてるような感じ
- ・生徒の思いを考えてくれる教員が多かった
- ・優しくてもう少し厳しくていいと感じる
- ・面談もありサポート体制があるため
- ・どの先生も生徒の立場になって考えて下さる優しい先生ばかりだった
- ・熱心で、親身になってくださいました
- ・先生と学生の距離が近く、不安や悩みを相談しやすかった
- ・先生たちみんながお母さんみたいで、アットホームな感じが大好きです
- ・どの先生方もいろんな話を親身になってくれる。国試なども相談したら色々アドバイスをくれる
- ・生徒思いで質問しやすい先生が多い
- ・フレンドリーな教員が多いため関わりやすかった

(2) まあまあ良い

[3年生]

- ・好き嫌いやイメージだけで生徒の扱い方が違うのはよくないと思う
- ・たまに言っていることがよくわからない人がいる。先生同士で言っていることを一致させてほしい
- ・優しい
- ・距離が近く、気軽に相談できる

[卒業生]

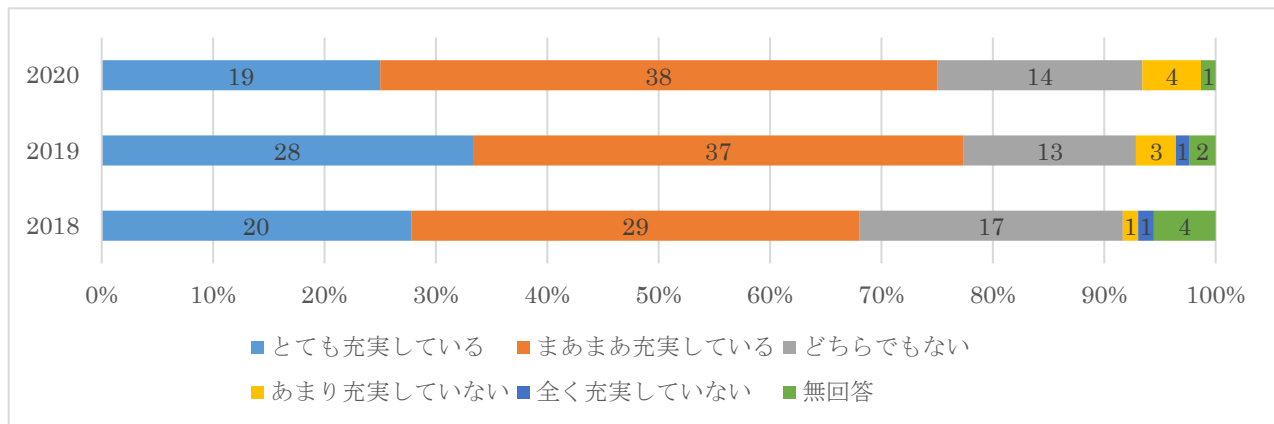
- ・担当教員にとってもお世話になった
- ・殆どの教員は、分からないことは丁寧に説明や指導をしてくれていてとても良かったと思っている。
しかし、気分によって急に怒る教員等もいたため、関わり方が難しいと感じていたときもあったから
- ・自分に合う教員に出会えるかどうか3年間でとても重要だったから
- ・私は好き嫌いがあったので仲のいい先生はとても良かったし、何より校長先生とかなり仲良くなれて楽しい生活だった
- ・優しく近い距離で相談に乗ってくれる人が多い

(3) どちらでもない

[3年生]

- ・いい先生ばかりだが、時々理不尽な事で注意されることがある
- ・関わる機会が少ないから

10 学生生活全般について、あなたはどのように感じていますか？



(1) とても良い

[3年生]

- ・大変だけど楽しい
- ・問題もなく、落ち着ける空間もあり充実
- ・クラスの人々も良い人ばかりで学習しやすい環境

[卒業生]

- ・少人数だからこそめっちゃくちゃ仲が深まる
- ・楽しかったため
- ・充実していたと思う
- ・メリハリのある3年間であった為
- ・先生と仲良くなれて友達とも最後は仲良くできた

(2) まあまあ良い

[2年生]

- ・色々慣れてしまえば楽しいです
- ・学校生活が楽しいから
- ・空きコマが空きコマでなくなる時悲しい

[3年生]

- ・充実している
- ・3年生になってクラスの雰囲気も良く楽しい
- ・特に不満はない
- ・息抜きの行事が少ない
- ・楽しいと思う
- ・実習は大変だけど、まあまあ楽しい
- ・生活環境が良い
- ・看護師になるための基礎を学んでいると感じたから

[卒業生]

- ・少人数だが楽しいため

- ・無駄な空きコマがあったと感じている
- ・3年間クラスが変わらないので色々トラブルあるのが辛い時がありました
- ・自分と気の合う友人ができたことや、30人クラスで3年間過ごすため色々な学生と交流することができたところはとても良かった。また、教員も親しみやすく、授業も分かりやすかったため学校生活で不便を感じたことはあまりなかった。しかし、少人数のクラスのため険悪なムードになると中々それが収まらず大変だった
- ・迷惑をいっぱいかけたが最後までしっかり支えてくださった。他にはない良いところだと思った
- ・少人数でアットホームなのが良かった
- ・楽しい行事もあり、特に問題なく過ごせた

(3) どちらでもない

[2年生]

- ・行事が少ない

[3年生]

- ・雰囲気による
- ・最後の遠足が無くなって悲しい

[卒業生]

- ・なにも感じない。学校だから行くけど、それ以外はあまりなんにもない
- ・雰囲気による

(4) あまり良くない

[3年生]

- ・つまらない。こんなに人間関係で悩むのは初めて。でも割り切って関わると決めたから期待していない
- ・理由はないが、つらい

11 その他学校への要望や期待すること等、自由にお書きください。

[2年生]

- ・WiFiを早くつけてほしい
- ・ロッカーが小さくて困っています。扉もガタガタしていて使いにくいです
- ・ロッカーを大きくしてほしい

[3年生]

- ・バイク駐車場に自転車がとまっているので、きちんと分けてほしい
- ・最終下校時刻を伸ばしてほしい
- ・使っていない古い用具などは整理したほうがいいと思う

[卒業生]

- ・これまで通り、アットホームでいて下さい
- ・図書館に本を借りに行きたい
- ・現状維持が一番良いと思います
- ・先生方の元気と優しさが学生としてはとても心強かったです。いつまでもアットホームな雰囲気を

続けて欲しいです

- コロナウイルスの影響で学校も大変だと思いますが、私も新しい環境で頑張ってます！みんなで乗り越えましょう！！！！
- 物品点検で、聴き慣れない物品で写真のない物を探すのはとても大変だった。そのため、可能な限り写真付きの物品一覧表を作って頂けると物品点検はもっと楽になると思う。また、数が曖昧な物も多くあったため物品の数え方も決めておいて貰えると物品を点検しやすくなると思う
- 大変な時期ですがこれからも頑張ってください
- これからも悩みを聞いてくれる環境であって欲しい

公立西知多看護専門学校自己点検・自己評価の講評

評価者 公立西知多総合病院
副院長兼看護局長 植村真美

1.教育理念・教育目的・教育目標について

(1) 学校の将来構想は非常に重要である。日本の医療提供体制が在宅へとシフトしている中、看護職への社会的ニーズも変化している。従って、基礎看護教育も対応が求められていく。このような観点から、地域・在宅を視野に入れた教育は重要であると考え。しかし、3年間という期間内に学びの幅を増やすことは学習者にとって負荷が大きいと考え、4年制化については継続的な検討が必要であると考え。

(2) 教育理念・教育目的・教育目標を学生や保護者等に周知することは、学習効果を上げるためにも重要であると考えるので、周知に関する取り組みを期待したい。

2.学校運営について

(1) 公立西知多総合病院で活躍する看護師の育成には大きな期待を持っている。これには公立西知多総合病院もしっかりと協力していく必要がある。密に連携できるという強みを生かし、具体的な方策へ繋げていく必要がある。

(2) 学校組織内の意思決定システムに関する評価が高くなっている。これは組織運営が益々効果的・効率的になり、改善や改革の基点になると考える。

(3) 情報のシステム化は Covid-19 の影響もうけ、学習環境の整備が必須となっている。インフラ整備には一程度の予算が必要となるが、学校運営には欠かせないものであると考える。改善を期待したい。

3.教育活動について

(1) 社会人基礎力については、入学時と卒業時で得点上昇しており、この成長が伺える。これは5回生から顕著に表れており、その要因について分析されると今後の発展に繋がるのではないかと考える。

4.学生支援について

(1) 学生支援に関する評価項目は全体的に高得点となっている。在校生・卒業生アンケートからも、親身になって学生を支援していることがわかる。個々の学生に対応することは労力が必要なことだが、今後も学生に寄り添い、職業人としての人生がスタートできるよう関わっていただけることを期待する。